

研修報告書 No.12

県外病院臨床研修医

地域医療研修として高知県の臨床研修病院にて 2022 年 12 月に 4 週間研修させていただきましたので、ここにご報告させていただきます。私自身、出身が東京で初期研修も東京で研修していますが大学時代は福岡で 6 年間大学生を送らせていただきました。

県外出身者から見た高知の地域医療は高齢者の方がやはり圧倒的に多い印象を受けました。都会と比較して病院の数も少ないため重症、軽症問わず様々な患者さんが来られる印象を強く受けました。また時期的に発熱外来に来られる方が多い現実を目の当たりにしました。

研修では主に外来を担当させていただきました。大学病院では外来を一人で担当する機会はあまりなく、自分で診察をして自分で検査オーダーを入れ、上級医の先生方と話し合いながら治療方針を決定することに最初は慣れませんでした。徐々に慣れていき、自分が何がわかっていて何がわからないのかが明確になっていくことを肌で感じる事ができ、極めて達成感を得ることができました。内科外来では発熱の患者さんに対応することが多く、コロナではなかった場合、鑑別としてなにを挙げどう対処するののかも勉強させていただきました。毎週 1 日は外科外来を担当し、縫合や抜糸など創部の処置を主にさせていただき貴重な経験ができました。また小児科外来では先生とともに診察を行い、子どもの親からの問診を丁寧に行うことの大切さと難しさを経験させていただきました。様々な外来の中で私が最も充実感を感じたのが救急外来です。軽症から重症まで様々な患者さんが来られる救急外来の現場で一から医療面接、身体診察、検査オーダー、処置、入院手続き、患者家族への説明をさせていただき非常に勉強になりました。病歴の取り方や身体診察では上級医の先生が丁寧にフィードバックしてくださり、どのようにしたらもっと良くなるなど逐一教えていただきました。手技の面でも、気管挿管、気管支内視鏡、気管切開なども経験させていただきました。挿管して人工呼吸器に繋いだあとの人工呼吸器の管理では、操作に関して教えていただくことも多く非常に勉強になりました。

研修病院では内科外来の合間や自由な時間ができた時に、上級医の先生から、勉強になりそうな症例があれば適宜呼んでいただける研修環境があります。どこまでどう考えたのか聞いていただき、その後どのように考えるのかを学ぶ機会は、大学病院ではあるようになかなかなく、フィードバックしていただいた後に書籍で理解を深めることができ非常にためになりました。私が研修病院での研修の際に感じたのはスタッフの方々、ドクターの方々非常に優しいということです。分からないことがあると一から教えてくださり、ドクターの方々も専門に限らず優しく丁寧に教えてくださいました。月末の症例発表では、担当の先生が丁寧にアドバイスをくださり、参考にしたらいい文献なども教えてくださいました。

私は当直に 4 回入らせていただきました。当直ではウォークインの患者さんも見させていただき、深夜帯でくる腹痛の患者さんや呼吸困難の患者さんも診させていただきました。画像の見方など技師の方々に助けられながら、放射線科医の読影の前に自分で診断してみる機会も与えていただきました。

地域医療研修病院での研修は、以上述べたように素晴らしい研修であると感じます。私自身、今回の研修で学んだことをこれからの医学の勉強に役立たせていきたいと感じるとともに、地域医療の実態も知ることができる貴重な経験でした。地域医療は都会と異なり病院数も決して多くはなく、ここで救わないといけないという場面に多く遭遇します。その際、一人でも多くの患者さんを救うために今なにをしたら良いのか、その判断力と実力がともに必要であると感じました。私自身、来年度から救急医として働くこととなりますが、今回の地域医療での研修を糧により多くの患者さんを救えるよう日々努力していきたいと思えます。このような貴重な機会を与えていただき誠にありがとうございました。